

(2) 情報教育研究会 (ICT の活用・中学校)

会 長 兼松 尚子 (中村西中)

副会長 高橋 大輔 (中村中)

事務局 大橋 拓真 (中村中)

1. 研究主題 「ロイロノートの効果的な活用方法について」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和6年 5月7日 (火)	四万十市教育研究会組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校 (美術室)	28名参加
令和6年 8月2日 (金)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容：ロイロノートの効果的な活用方法について 講師：株式会社LoiLo 乙幡ローラ絵美里 様	中村中学校 (PC室)	25名参加

3. 四万十市教育研究会 夏季研修会

今年度の研修では今年度より四万十市に導入された学習共有ツール（ロイロノート）の効果的な使用方法について研究を進めていくこととなった。そこで、株式会社 LoiLo にお願ひし、リモートで研修を行った。研修会の中では、講師の方が教師目線と生徒目線での操作画面を切り替えながら、丁寧に説明を行ってくれた。また、参加して頂いた先生方には生徒の立場で意見共有、考えを深める活動をロイロノートを通して実践的に行って頂いた。授業での活用場面の具体を示しながら、生徒目線での活用の利便性を実感しながら堅守会を進めることができたことで ICT 活用に苦手意識がある先生方も、ロイロノートの簡便な操作方法を学び、授業で活用する意欲が増したとの感想を研修後に頂いた。

4. 今年度の成果と課題

【成果】

- ・ ICT 活用が苦手な先生方にとって、ロイロノートを活用する入口となる研修会になった。
- ・ 四万十市全体で ICT を組織で積極的に活用していく雰囲気を作るきっかけとなった。

【課題】

- ・ 教科で目指す資質・能力を育成するための各教科特有の効果的な活用方法を今後、見出していく必要がある。
- ・ ICT 活用が先生方に浸透していく中で、「資質・能力を定着させるための手段としての ICT 活用」としての捉えが、「活用することが目的」という捉えにすり替わらないように留意する必要がある。